



立志 鍛錬 協調

平成29年10月11日号

立三申

立川市立立川第三中学校

Tachikawa Daisan J.H.School

だより

SNSの危険性

校長 山口真一

SNS使用によるトラブルがここ数年増加しています。情報発信やコミュニケーション活性化のツールとして便利なものですが使用上の注意が必要であり、学校や家庭で決めたマナーやルールをしっかりと守る必要があります。今年度、市内中学校において実施された「携帯電話等の利用状況によるアンケート」によると、8割近い生徒が自分の携帯・スマホを持っており、1日の使用時間が1～2時間の回答が最も多く、3時間以上使用する生徒が2割近くもいました。市内各学校では「SNSルール」を策定しています。各ご家庭でも「家庭ルール」があると思いますが、これを守れている生徒がほぼ5割であることが今後の課題のひとつです。

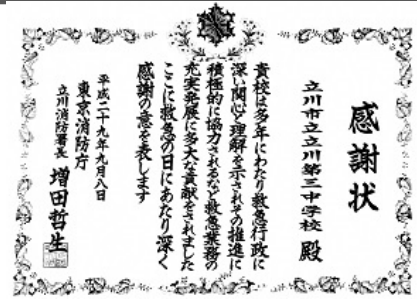
インターネット上で公開された画像や個人情報は、一度拡散してしまうと消すことは非常に困難です。サイト運営会社に削除依頼を求めても完全に消すことはできず、デジタルデータは簡単にコピーできるため半永久的に残ります。このことから入れ墨（タトゥー）を消すことが困難であることにたとえて、ネットに残ったデータをデジタルタトゥーと表現する場合があります。またGPS機能のついた携帯やスマートフォンで撮影された写真には、撮影場所の緯度・経度・高度のデータが含まれています。ネット上に投稿した写真から自宅等の撮影場所が特定されてしまうこともあります。

本人は軽い気持ちでやったことが、社会問題に発展したこともあります。飲食店内での非常識な悪ふざけをSNSに投稿し、お店に大きなダメージと損害を与える出来事もありました。本人も刑事告訴や損害賠償を請求されるなど、今後の人生に大きな影響を及ぼす問題に発展しています。またネット上ではすぐに名前や所属が特定され、これもすぐに拡散します。企業の中にはこういったトラブルの情報を収集し、就職試験の際の判断材料にしているところもあると聞いています。一時の行為が自分の将来に重大な影響を与えてしまうこともある一例です。SNSを使用するときにパスワードを設定することは大切ですが、時間をかければ破られますし絶対安全ではありません。生年月日などから推測されるような簡単なパスワードは避け、定期的に変更する必要があります。

ネット上のサービスは日々進化していますが、その利便性と危険性は隣り合わせです。危険性は徹底的に排除しなければなりません。学校や家庭で決めたルールは守るべき最低限のルールです。リスクを避ける知識と技術を身に付け、使用上のマナーをしっかりと身に付けてほしいと思います。

感謝状

本校における救命救急講習等の防災教育の取り組みが評価され、立川消防署より感謝状をいただきました。9月8日に表彰式があり、他の団体とともに表彰されました。保護者・地域の皆様に協力いただき、生徒が積極的に取り組んだ成果です。今後も活動を推進していきます。



引き渡し訓練

9月1日防災の日、災害時における引き渡し訓練を実施しました。これは大災害が発生したときの引き渡しの方法を確認することと、大災害への安全に対する意識を高め、適切な対応を学ぶことを目的としています。当日はお忙しいところ、多くの保護者の皆様に参加していただきました。ご協力ありがとうございました。

生徒会児童会交流会

校区3小学校の児童会役員の皆さんをお招きし、9月11日に交流会を開催しました。各学校の紹介や各校でのあいさつ運動の取り組み、大田市交流活動の報告などを行いました、児童会新聞や写真資料などを使って、とても充実した活動ができました。



立川市民科三中防災の日

9月16日(土)を三中防災の日として、地域・関係機関の方々にご協力をいただき、全校で防災活動に取り組みました。1年生は地域防災訓練に参加、2年生は防災ゲームと地域の方からの講話、3年生は立川消防署の指導による救急救命講習を実施しました。みんな真剣に取り組み、防災活動の大切さをしっかりと学びました。



寄付金を有効活用しています

昨年、市内で開催されました大相撲夏巡業の収益金を歓迎元の平成28年夏巡業大相撲立川立飛場所実行委員会様より市に寄附をいただきました。市では寄附金を小中学生の教育環境の整備と立川駅西側地下道整備に充てることにいたしました。今年度、小学校には図書館の図書購入費用として1校50万円、中学校には楽器購入費用として1校100万円、計1,900万円を各校に予算配当しました。教育環境の充実にも有効に活用させていただきます。同実行委員会の皆様、ありがとうございました。